

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

No	名称	所在地	指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所	災害別適否	
						土砂災害	水害
1	大衡小学校(体育館)	大衡字平林13	○	○	—	○	○
2	大衡中学校	大衡字爪木145-1	○	○	—	○	○
3	平林会館	大衡字平林62	—	○	—	○	○
4	万葉研修センター	大衡字平林62-14	○	○	—	○	○
5	屋内運動場	大衡字平林62-14	○	○	—	○	○
6	村民体育館	大衡字爪木145-57	○	○	—	○	○
7	大衡城青少年交流館	大衡字塩浪4-2	○	○	—	×	○
8	福祉センター	大衡字平林62	○	○	○	○	○
9	地域活動支援センター	大衡字平林62-13	○	○	○	○	○
10	西部球場	大瓜字蒲切沢102-1	○	—	—	○	○
11	万葉クリエートパーク	大衡字大日向16-2	○	—	—	○	○
12	多目的運動広場	大衡字爪木145-35	○	—	—	○	○
13	ときわ台多目的運動広場	ときわ台16	○	—	—	○	○
14	村民グラウンド	大衡字亀岡19	○	—	—	○	×
15	大衡児童館	大衡字平林11-3	○	○	—	×	○
16	衡上集会所	大衡字河原55-2	○	○	—	○	○
17	衡中集会所	大衡字亀岡19	○	○	—	○	×
18	衡中東集会所	大衡字平林57-1	○	○	—	○	○
19	ときわ台集会所	ときわ台18	○	○	—	○	○
20	衡中北集会所	大衡字五反田4-13	○	○	—	○	○
21	衡下集会所	大衡字竹ノ内前24	○	○	—	○	×
22	大瓜上集会所	大瓜字北石崎22-1	○	○	—	×	○
23	大瓜下集会所	大瓜字四反田27-3	○	○	—	○	○
24	駒場集会所	駒場字下田畑36-1	○	○	—	○	○
25	大森集会所	大森字寺前5-1	○	○	—	×	○
26	奥田集会所	奥田字熊野前17-4	○	○	—	○	○
27	蕨崎集会所	駒場字彦右衛門橋3-25	○	○	—	○	○
28	松原集会所	大衡字尾西373-5	○	○	—	○	○
29	衡東集会所	駒場字彦右衛門橋3-82	○	○	—	○	○

わが家の緊急連絡先

名前

緊急連絡先

名前

緊急連絡先

名前

緊急連絡先

名前

緊急連絡先

避難所等の区分について

指定緊急避難場所：切迫した災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所です。洪水や土砂災害など災害の種類毎に使用可能な避難場所が指定されています。

指定避難所：災害の危険性がなくなるまで一定期間避難生活を送るための施設です。

災害用伝言ダイヤル(171) 災害時にNTTから提供される「声の伝言板」です。

災害用伝言板(web171)

伝言の録音

171→1→□□□-□□□-□□□□

ガイダンス(説明)がながれます。

被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からブッシュ。

伝言を入れる間

30秒以内

171→2→□□□-□□□-□□□□

伝言の再生

インターネットでも登録・確認できます。
<https://www.web171.jp> にアクセスしてください。

災害用伝言板(web171)

災害用伝言ダイヤル(171) 体験利用提供日

- 毎月1日、15日 0:00～24:00
- 正月三が日(1月1日 0:00～1月3日 24:00)
- 防災週間(8月30日 9:00～9月5日 17:00)
- 防災とボランティア週間(1月15日 9:00～1月21日 17:00)



作成：2022年3月

〒981-3692
 宮城県黒川郡大衡村大衡字平林 62 番地
 TEL022-345-5111/FAX022-345-4853
 URL <https://www.village.ohira.miyagi.jp/>

大衡村 ハザードマップ



保存版

— 災害から守れ、自分で、家族で、地域で —



2022年度版

1-1. 大衡村でおこりうる風水害は…

水害や土砂災害の多くは、大雨が原因でおこります。天気予報の降雨で「土砂災害警戒情報」や「記録的短時間大雨情報」という言葉が出てきたら、注意しましょう。

また、「1時間の雨量が50～80ミリ以上」「降り始めてから200～300ミリ以上」の降雨情報が出たら、水害や土砂災害に気をつけましょう。

大雨をもたらす現象

積乱雲の発達

「大気の状態が不安定」な時（上空に冷たい空気、地上に温かい空気の層がある時）に発生します。

台風の接近

最も大雨を降らせるコースは、紀伊半島から東海地方へ北東進するものです。

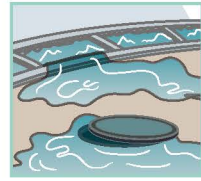
前線の停滞

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します。

大雨が降ると…



内水氾濫



大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」と言います。



外水氾濫 (洪水)



大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象を「外水氾濫」と言います。



ため池決壊



ため池の決壊は、大雨や地震、ため池の老朽化により発生する可能性があります。

土砂災害

	土砂災害の種類	前兆現象
がけ崩れ		<ul style="list-style-type: none"> ●がけに割れ目が見える。 ●がけから水が湧き出ている。 ●がけから小石が落ちてくる。 ●がけから木の根が切れる音がする。
土石流		<ul style="list-style-type: none"> ●山鳴りがする。 ●急に川の流が濁り、流木が混ざっている。 ●雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。 ●腐った土の臭いがする。

土砂災害（特別）警戒区域とは

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）
土砂災害のおそれがある区域で、警戒区域では危険の周知、警戒避難マニュアルの作成など警戒避難体制の整備が図られます。

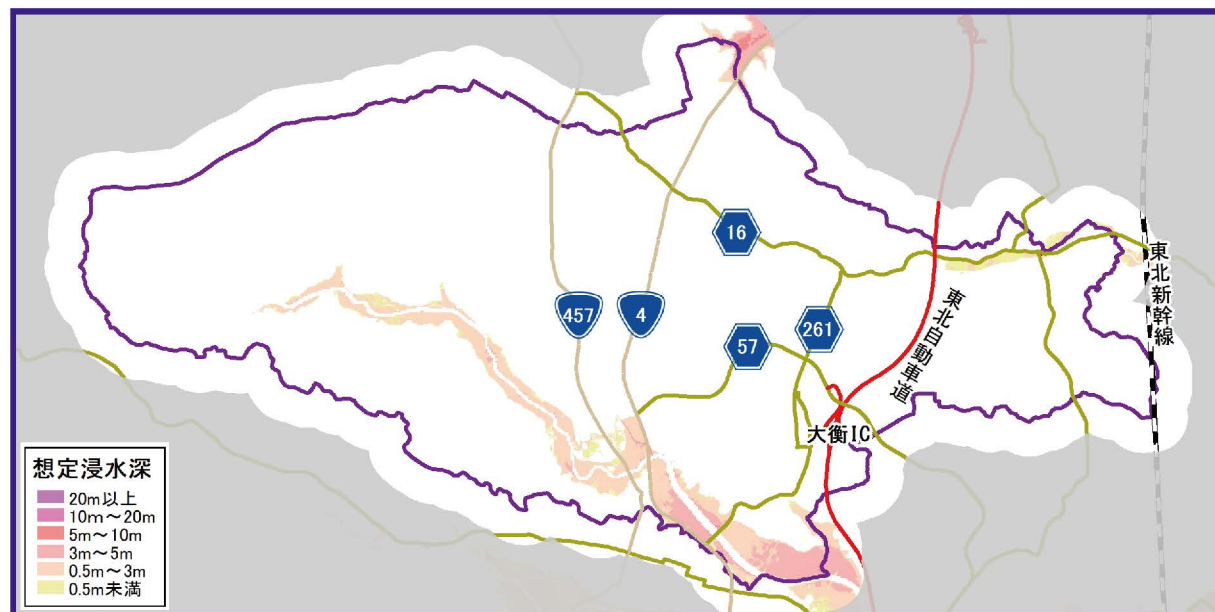
土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）
土砂災害警戒区域のうち建築物に損壊が生じ住民に著しい危害が生じるおそれがある区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、建築物の移転の勧告及び支援措置などが行われます。

※がけ崩れのケース

洪水ハザードマップ

100年に一度の大雨（計画規模降雨=L1）

このマップは、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。



1000年に一度の大雨（想定最大規模降雨=L2）

このマップは想定し得る最大規模の降雨（計画規模を上回るもの）により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
(2-7.ハザードマップは、この「1000年に一度の大雨」を想定したハザードマップです)



2-1. 大雨時の避難行動



避難行動は、村が指定する避難所以外に、安全な親戚・知人宅や、安全なホテル・旅館などへの「立退き避難（水平避難）」、または「屋内安全確保（垂直避難）」があります。

2-2. 大雨時に役立つ情報

大雨時には自ら情報を収集し、避難が必要か考えて行動しましょう。





各情報源から入手できる情報

	気 気象情報	川 河川水位情報	土 土砂災害情報	避 避難情報
テレビ ラジオ	気 川 土 避	テレビ NHK ※dボタンを押すと情報を確認できます。	AM ラジオ NHK 宮城 第1放送… 仙台 891kHz	F M ラジオ NHK FM 宮城… 仙台 82.5 MHz
メール (携帯電話など)	気 川 土 避	登録 大衡村防災メール 必要 https://service.sugumail.com/ohira/faq/m/	登録 土砂災害警戒メール配信システム 必要 https://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/mail/DoshaMail_pc.htm	【登録方法】 左のQRコードを読み取り、空メールを送信し、登録してください。
	気 川 土 避	登録 携帯電話事業者 不要 緊急速報メール	村内に滞在している人の携帯電話に自動的に情報が配信されます。	
インターネット	気 川 土 避	大衡村ホームページ https://www.village.ohira.miyagi.jp/	気象庁ホームページ https://www.jma.go.jp/jma/index.html	川 国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/
	気 川 土 避	富谷・黒川地区わがまちマップ https://www2.wagmap.jp/kurokawa/Portal	気 川 土 避 キキクル https://www.jma.go.jp/bosai/risk/	気 川 土 避 Yahoo! 防災速報 https://emg.yahoo.co.jp/
大衡村 防災行政無線	気 避	屋外の拡声子局や屋内の戸別受信機から緊急時の避難情報や気象情報、災害情報などの迅速な発信を行います。	大衡村防災行政無線電話応答サービス 022-345-1151	

2-3. 警戒レベルごとにマイ・タイムラインを作成しましょう

台風の接近や大雨は、事前に予測できるため、日頃から警戒レベルごとに、「いつ」「だれが」「何をするのか」を決めておき、記入例を参考に、マイ・タイムラインに書き込みましょう。

警戒レベル		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
防災気象情報 (警戒レベル相当情報)	河川	—	氾濫注意情報	氾濫警戒情報、洪水警報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
	土砂災害	—	—	大雨警報(土砂災害)	土砂災害警戒情報	大雨特別警報(土砂災害)
	キキクル(危険度分布)	—	「注意」(黄)	「警戒」(赤)	「非常に危険」(うす紫)	—
とるべき行動		防災気象情報などの最新情報に注意し、災害への心構えを高める！ 今後気象状況悪化のおそれ 	ハザードマップなどで自宅の危険性を再確認し、どのような行動をとるか決めておく！ 気象状況悪化 	危険なところにお住まいの方で、高齢者や体の不自由な方などは安全な場所に避難を開始！ 災害のおそれあり 	危険なところにお住まいの皆さんは、安全な場所にすぐに避難を開始！ 災害のおそれ高い 	直ちに自らの命を守る！ 災害発生または切迫 
マイ・タイムライン		<input type="checkbox"/> 天気予報を確認 <input type="checkbox"/> 家の点検・補強 <input type="checkbox"/> 家族の予定を確認 <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品と備蓄品の確認 <input type="checkbox"/> 常備薬の準備(1週間) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 避難方法と避難先の確認 <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電 <input type="checkbox"/> 避難に時間がかかる方は避難の準備 <input type="checkbox"/> 避難しやすい服装に着替える <input type="checkbox"/> 避難先(親戚・知人宅)に連絡 <input type="checkbox"/> ガソリンを入れる <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 避難所の開設状況の確認 <input type="checkbox"/> 防災情報を確認 <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品の準備 <input type="checkbox"/> 自宅の2階へ備蓄品を移動 <input type="checkbox"/> 火の元、戸締りの確認 <input type="checkbox"/> 避難を開始 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 防災情報を確認 <input type="checkbox"/> 避難所や安全な親戚・知人宅に避難 <input type="checkbox"/> 自宅の2階へ避難 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> テレビをつけたまま防災気象情報を確認 <input type="checkbox"/> 外に出ず、自宅内の少しでも安全な場所へ避難 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
【記入例】		<input checked="" type="checkbox"/> 天気予報を確認 お母さん <input checked="" type="checkbox"/> 家の点検・補強 お父さん				

警戒レベル4までに必ず避難！

1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

2-4. 避難行動の種類

立退き避難（水平避難）



河川の近くや浸水深が大きくなる地域、家屋流失のおそれがある区域、土砂災害（特別）警戒区域など、そこにとどまることが危険な場合などは、指定された避難所、親戚・友人宅や近隣の安全な場所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難は災害が発生する前に行うことが原則です。

立退き避難（水平避難）のポイント

車での避難は危険！ 避難は徒歩で！

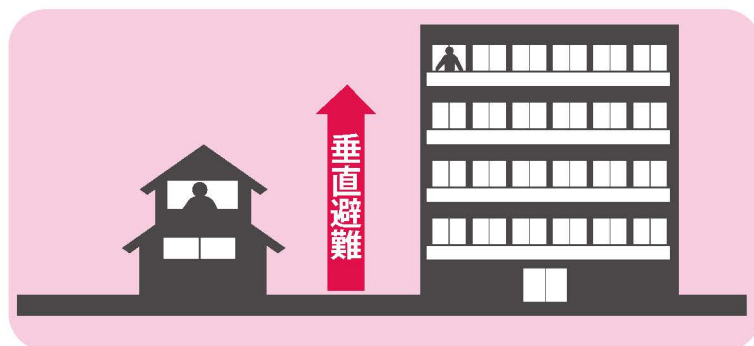
大雨時に車で移動すると、「流される」「冠水したところに車が入り、車内に閉じ込められて脱出できない」などのリスクが考えられます。避難するときは原則徒歩で避難しましょう。



『自分は大丈夫』と思わない

逃げ遅れの原因の一つとして「自分は大丈夫」と思って避難をせず、危険を感じた時にはもう逃げられない状況に陥っているという事例がたくさん報告されています。
"我がこと意識"をもって、早めの避難を心がけましょう。

屋内安全確保（垂直避難）



夜間や急激な降雨により、避難所までの経路にある危険な場所が分かりにくい場合や、浸水などにより歩くことが困難な場合など、屋外に出ることがかえって危険なときは、自宅の2階以上や近隣のより高い建物へ避難するなど最大限、命を守る行動をとりましょう。

2-5. 避難時の心得

●お年寄りや子供、病気の方、体の不自由な方などは、早めの避難が必要です。避難に支援が必要な方に協力しましょう。



●警戒レベル3で高齢者などは避難を！ 避難に時間を要する人は、警戒レベル3が発令されたときには速やかに立退き避難を行いましょう。

●避難判断は自分で！ 気象情報や避難情報などの防災情報をもとに、自主的避難を心がけましょう。



●避難するときは動きやすい恰好で。2人以上での避難を心がけましょう。
●近所の方にも声をかけ、早めの避難を心がけましょう。



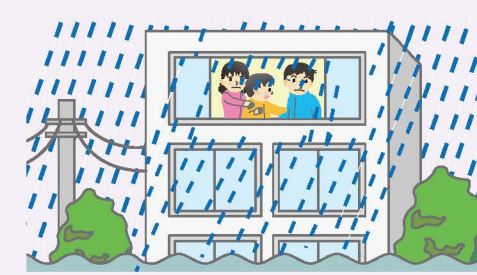
●夜間の避難は周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。



●もし逃げ遅れたら斜面と反対側の建物の2階の部屋に移動して、自分の身を守りましょう！



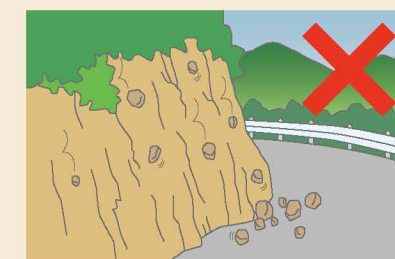
●避難所が近くにないときは、近所の丈夫な建物の上の階へ一時的に避難しましょう。



●危険な場所には近づかない



河川やため池には近づかない！



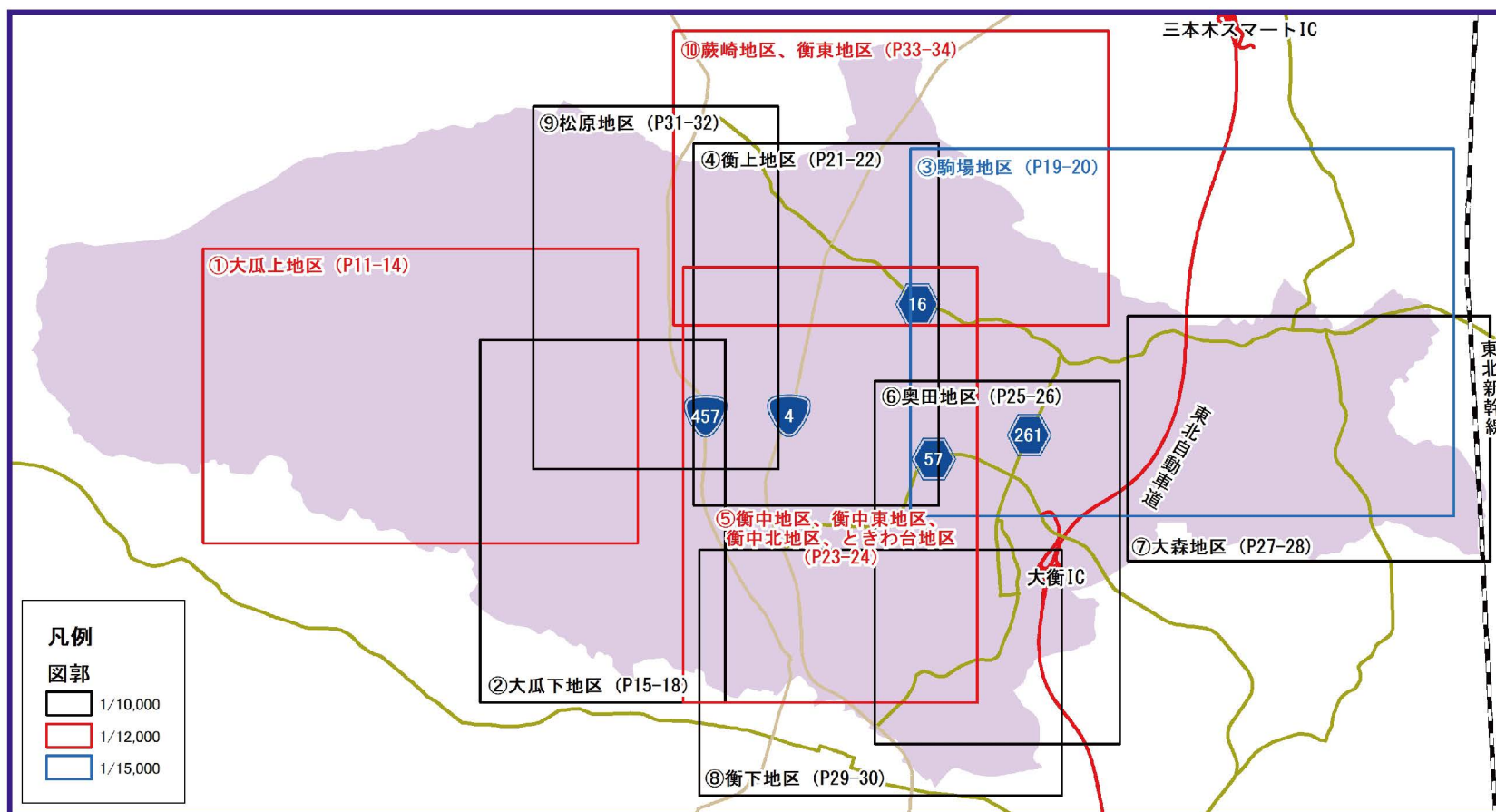
がけのそばには近づかない！

こんな場所にも注意！

- 谷川に大きな石がゴロゴロある所。
- 裏山に急な谷川がある所。
- 過去に冠水したことがある所。

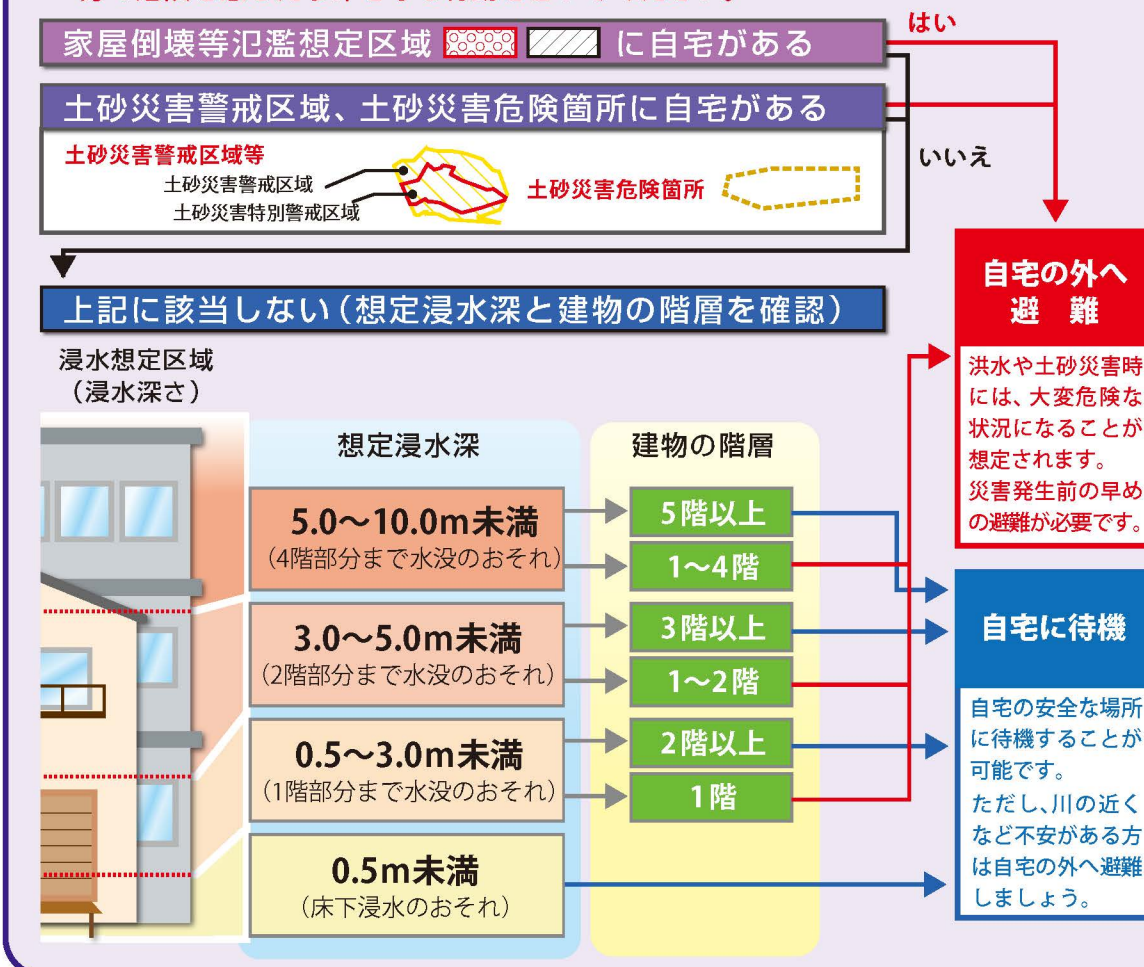
2-6. わが家の避難マップを作しましょう

ハザードマップは、地域別に以下の図郭割で作成しています。ハザードマップを確認し、わが家の避難所を決め、安全に避難できる経路を家族で話し合い、「わが家の避難マップ」を作成しましょう。



ハザードマップで自宅などを確認し、下図から大雨時にとるべき行動を確認しましょう

※ここに示すのは、大雨時にとるべき行動であり、絶対的なものではありません。身の危険を感じたら命を守る行動をとってください。



Step 1 **机上で** ハザードマップで避難経路を確認しましょう

1. ハザードマップで、あなたの家を確認しましょう。
2. 自宅周辺で予測される被害の有無、程度を確認しましょう。
3. 目標となる避難場所を確認し、あなたの家から安全に避難できるコースを考えましょう。

Step 2 **現地で** 実際に避難経路を歩いてみましょう

4. 家族で避難先までのコースを歩いてみましょう。
5. コースの途中で危険な場所があればチェックし、安全で避難しやすい経路を調べ、所要時間を確認しましょう。

避難ルートのチェックポイント

- 家族でどこへ避難すべきか？
- 川や水路など、大雨の際に危険な場所はないか？
- 坂道や階段などの歩きにくい場所はないか？
- 自宅から避難先までの時間はどの程度か？
- 避難途中で逃げ込めそうな場所はあるか？

Step 3 **わが家の避難マップを作しましょう**

6. 避難ルートを歩いたら結果を避難マップにまとめ、作成例を参考にわが家の避難マップを作しましょう。

危険な場所には「×」を、注意が必要な場所には「△」を付けましょう。また、付せんなどで、コメントを書き入れて分かりやすくしましょう。

わが家の避難マップ作成例

〇〇〇小までの避難時間 約10分かかる!

〇〇〇指定避難所

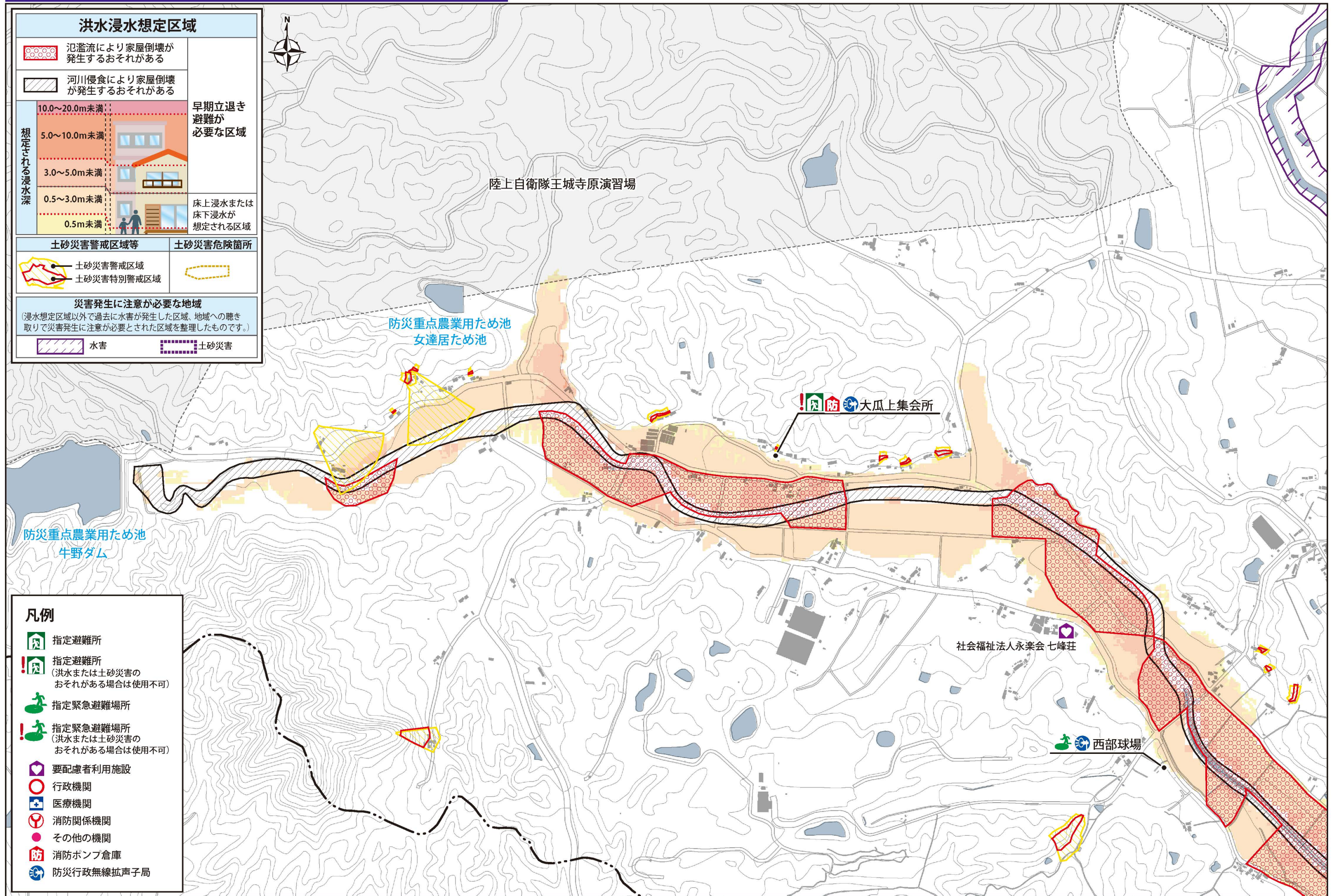
わが家の避難場所 〇〇〇小

大衡村ハザードマップ

地図をまとめる際は、本冊子のハザードマップをコピーして活用したり、村のホームページに公開しているPDFデータを活用してください。

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ① 大瓜上地区 洪水浸水版



1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

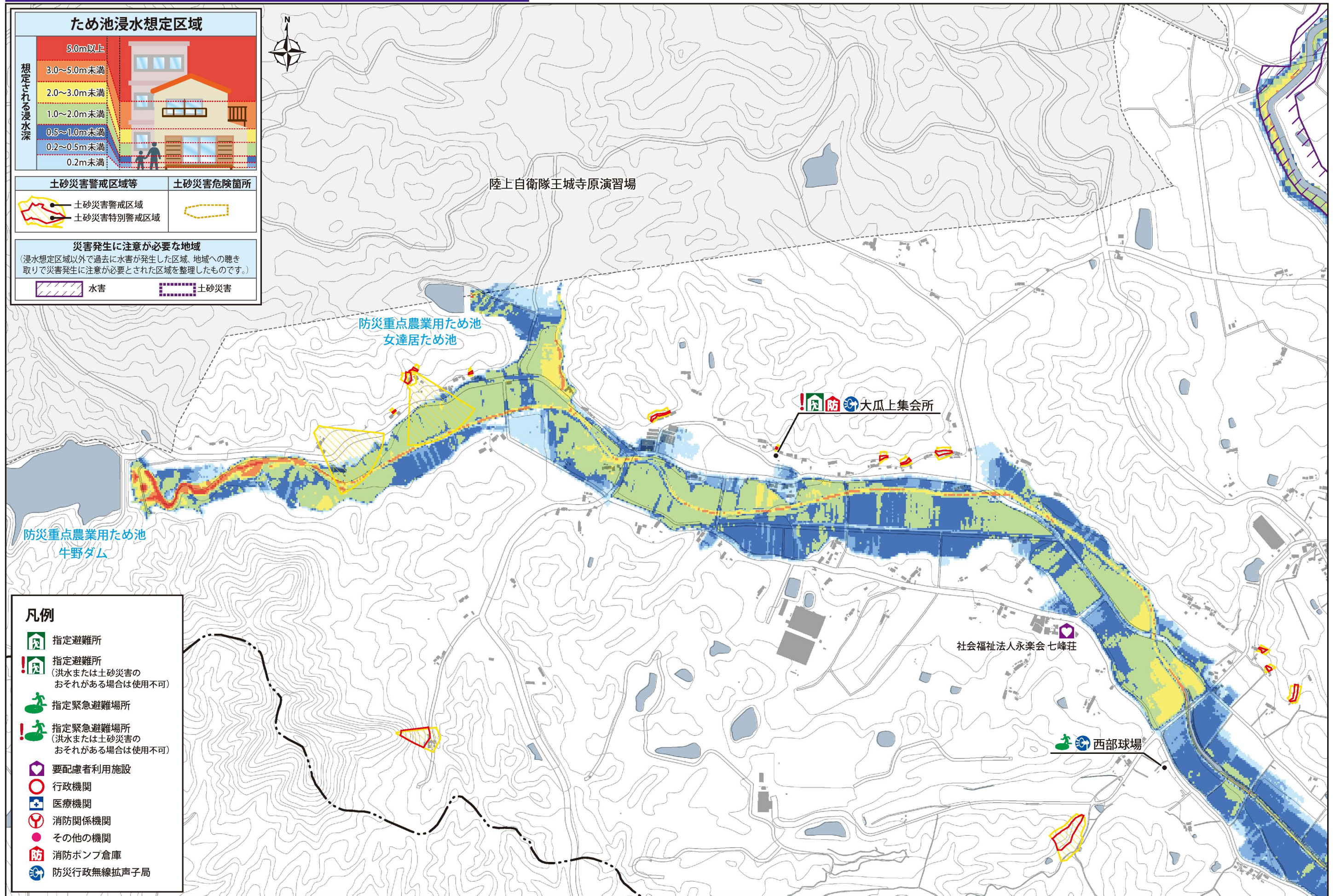
3 日頃から備える

1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

2-7. ハザードマップ① 大瓜上地区 ため池浸水版



1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

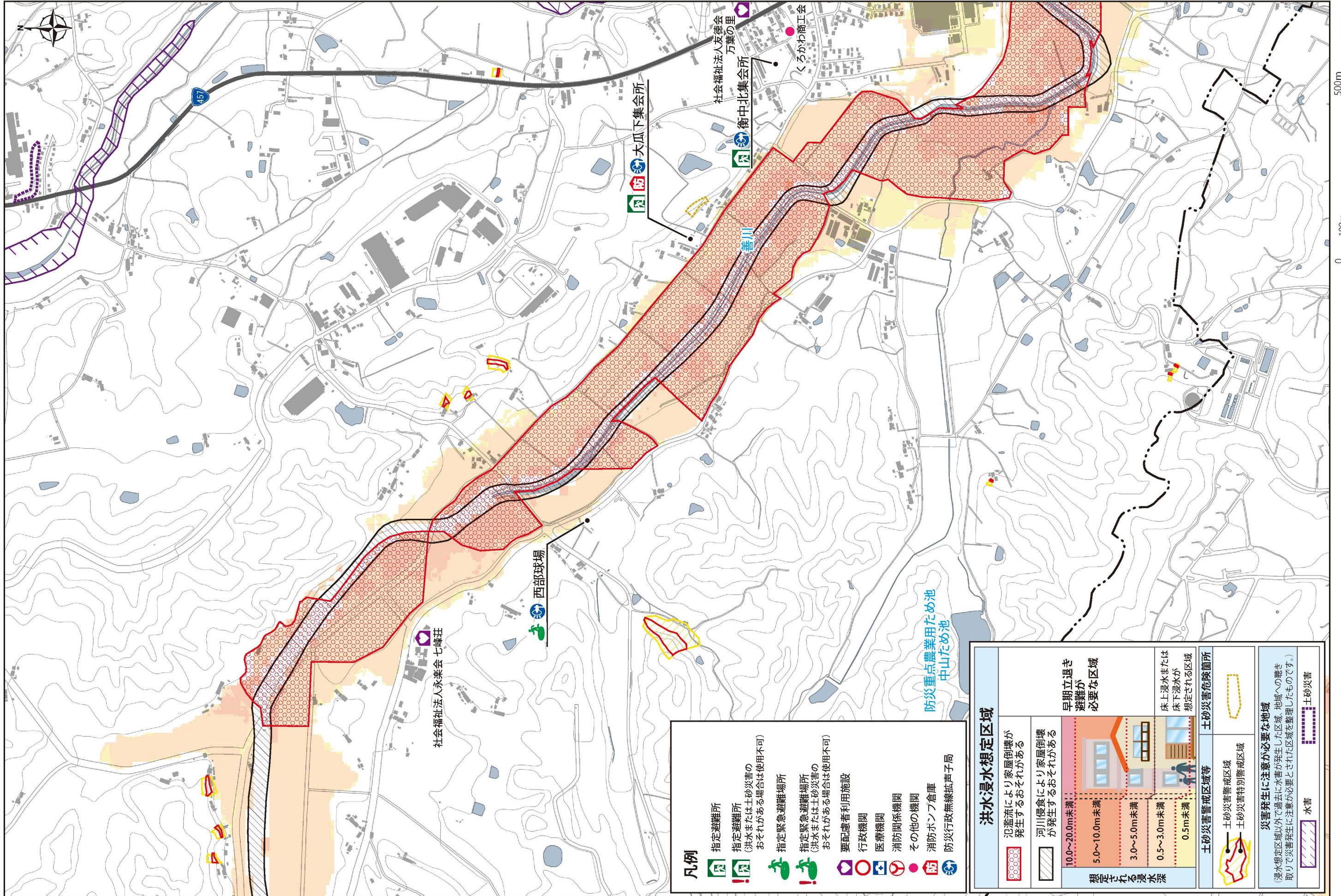
1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ② 大瓜下地区 洪水浸水版



- 凡例**
- 指定避難所
 - 指定避難所 (洪水または土砂災害のおそれがある場合は使用不可)
 - 指定緊急避難場所
 - 指定緊急避難場所 (洪水または土砂災害のおそれがある場合は使用不可)
 - 要配慮者利用施設
 - 行政機関
 - 医療機関
 - 消防関係機関
 - その他の機関
 - 消防ポンプ倉庫
 - 防災行政無線拡声子局

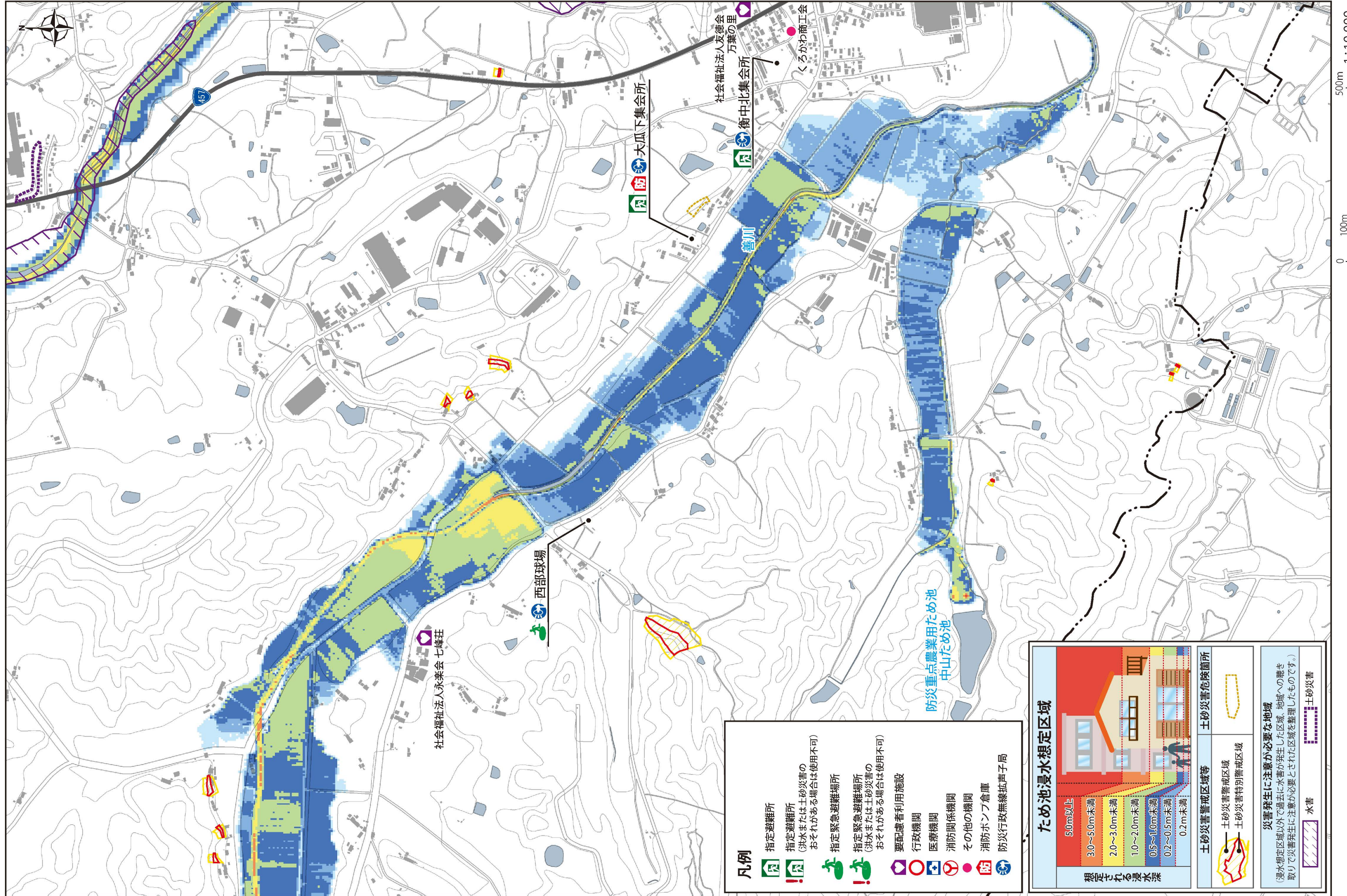
洪水浸水想定区域	
<ul style="list-style-type: none"> 氾濫流により家屋倒壊が発生するおそれがある 河川侵食により家屋倒壊が発生するおそれがある 	<ul style="list-style-type: none"> 早期立退き避難が必要な区域
<ul style="list-style-type: none"> 10.0~20.0m未満 5.0~10.0m未満 3.0~5.0m未満 0.5~3.0m未満 0.5m未満 	<ul style="list-style-type: none"> 床上浸水または床下浸水が想定される区域
<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒区域等 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域 	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害危険箇所
<ul style="list-style-type: none"> 災害発生に注意が必要な地域 (浸水想定区域以外で過去に水害が発生した区域、地域への働き取りで災害発生に注意が必要とされた区域を整理したものです。) 水害 土砂災害 	

1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ② 大瓜下地区 ため池浸水版



- 凡例**
- 指定避難所
 - 指定避難所 (洪水または土砂災害のおそれがある場合は使用不可)
 - 指定緊急避難場所
 - 指定緊急避難場所 (洪水または土砂災害のおそれがある場合は使用不可)
 - 要配慮者利用施設
 - 行政機関
 - 医療機関
 - 消防関係機関
 - その他の機関
 - 消防ポンプ倉庫
 - 防災行政無線拡声子局

ため池浸水想定区域

5.0m以上	
3.0~5.0m未満	
2.0~3.0m未満	
1.0~2.0m未満	
0.5~1.0m未満	
0.2~0.5m未満	
0.2m未満	

想定される浸水深

土砂災害警戒区域等	土砂災害危険箇所
土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域	土砂災害特別警戒区域

災害発生に注意が必要な地域
(浸水想定区域以外で過去に水害が発生した区域、地域への働き取りで災害発生に注意が必要とされた区域を整理したものです。)

- 水害
- 土砂災害

1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

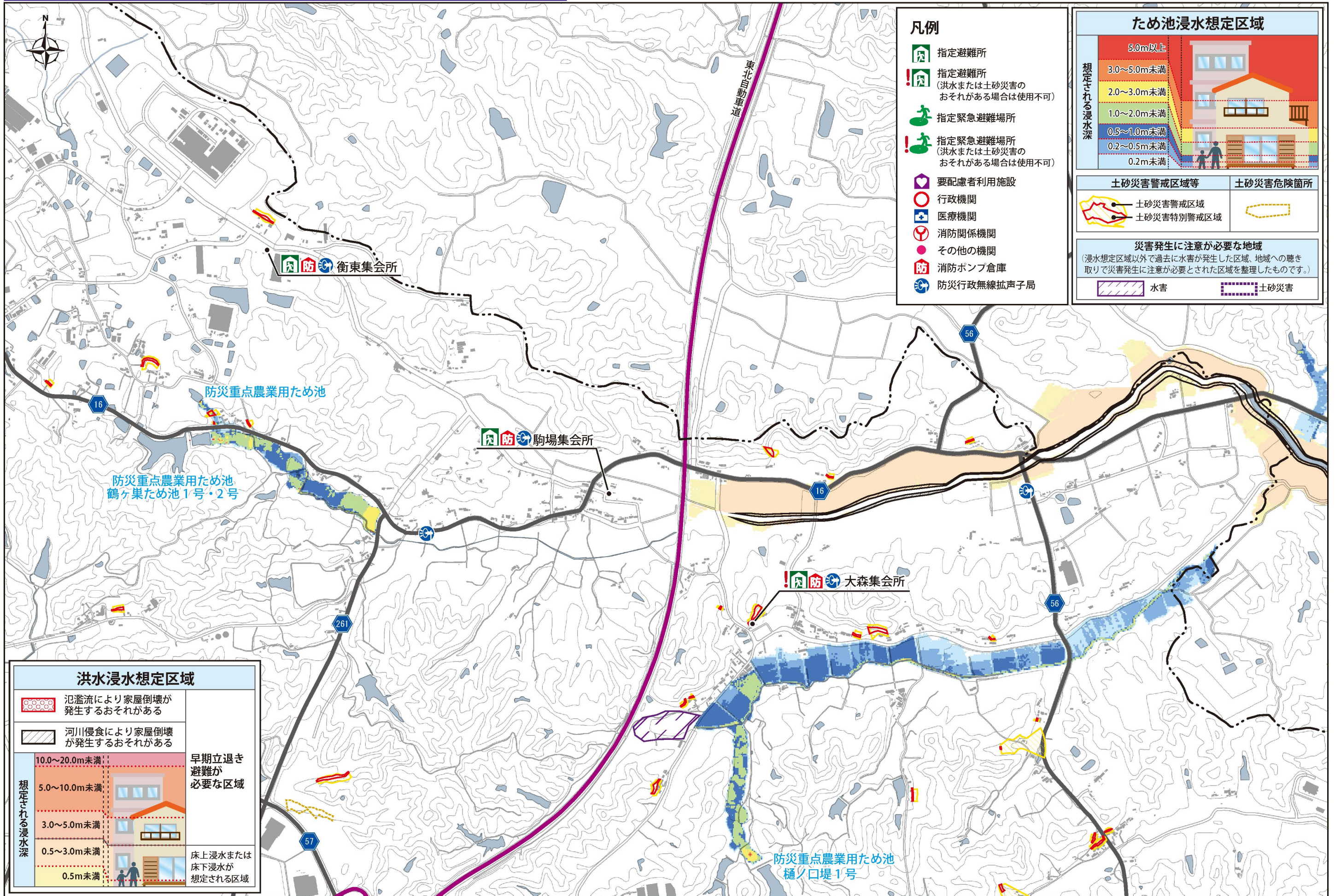
1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ③ 駒場地区 洪水・ため池浸水版



1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

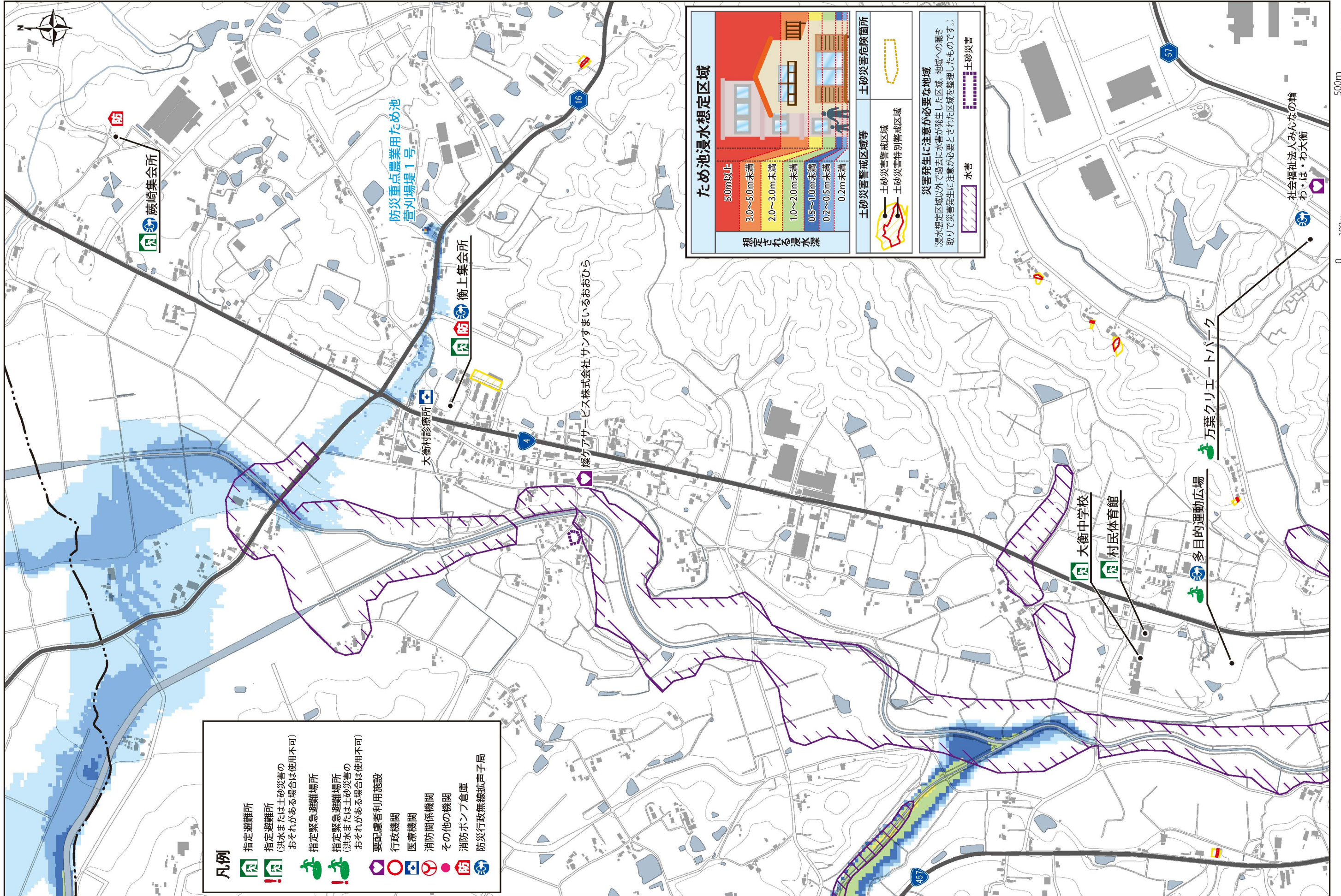
1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ④ 衡上地区 ため池浸水版



1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

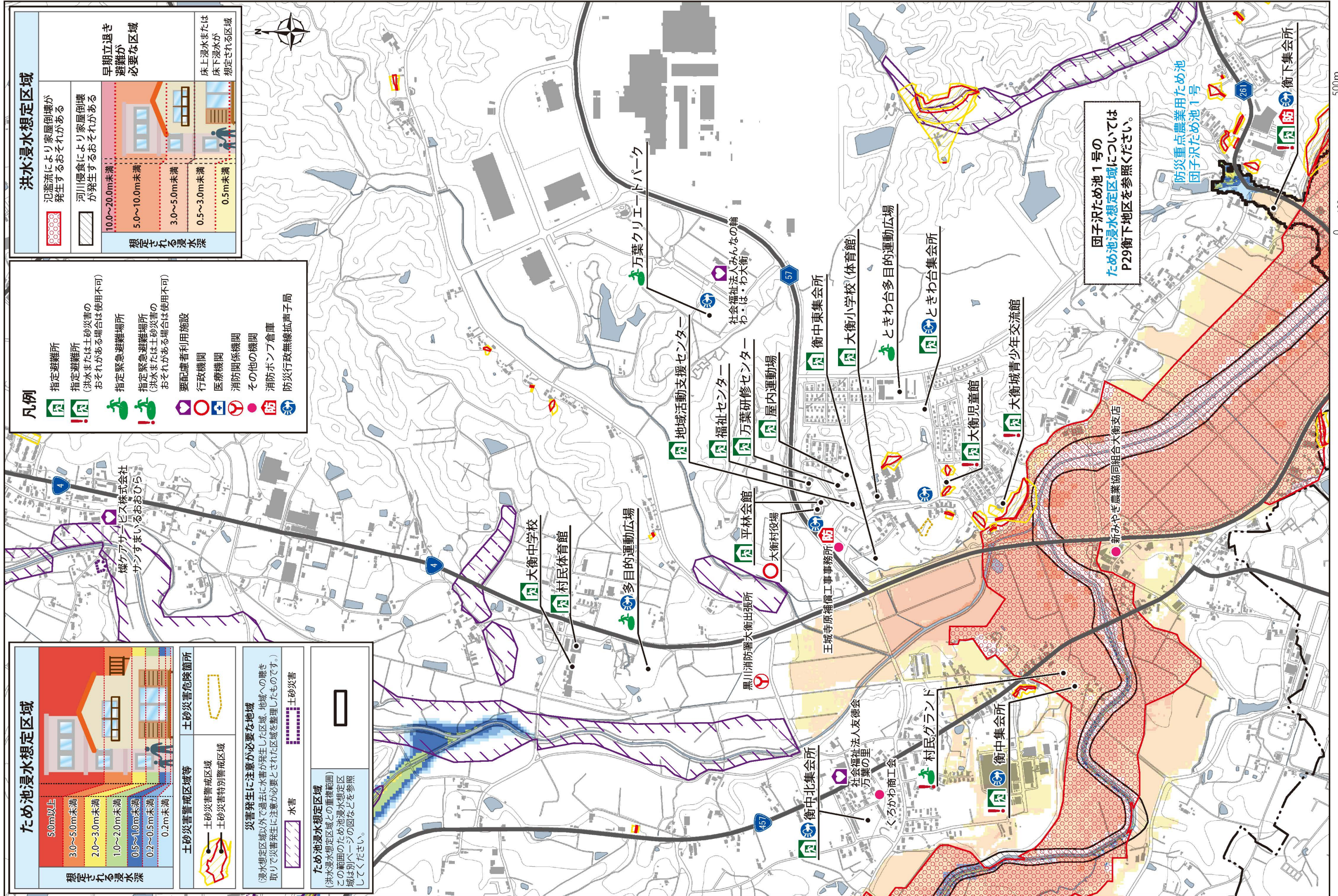
1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7.ハザードマップ⑤ 衡中地区、衡中東地区、衡中北地区、ときわ 台地区 洪水・ため池浸水版

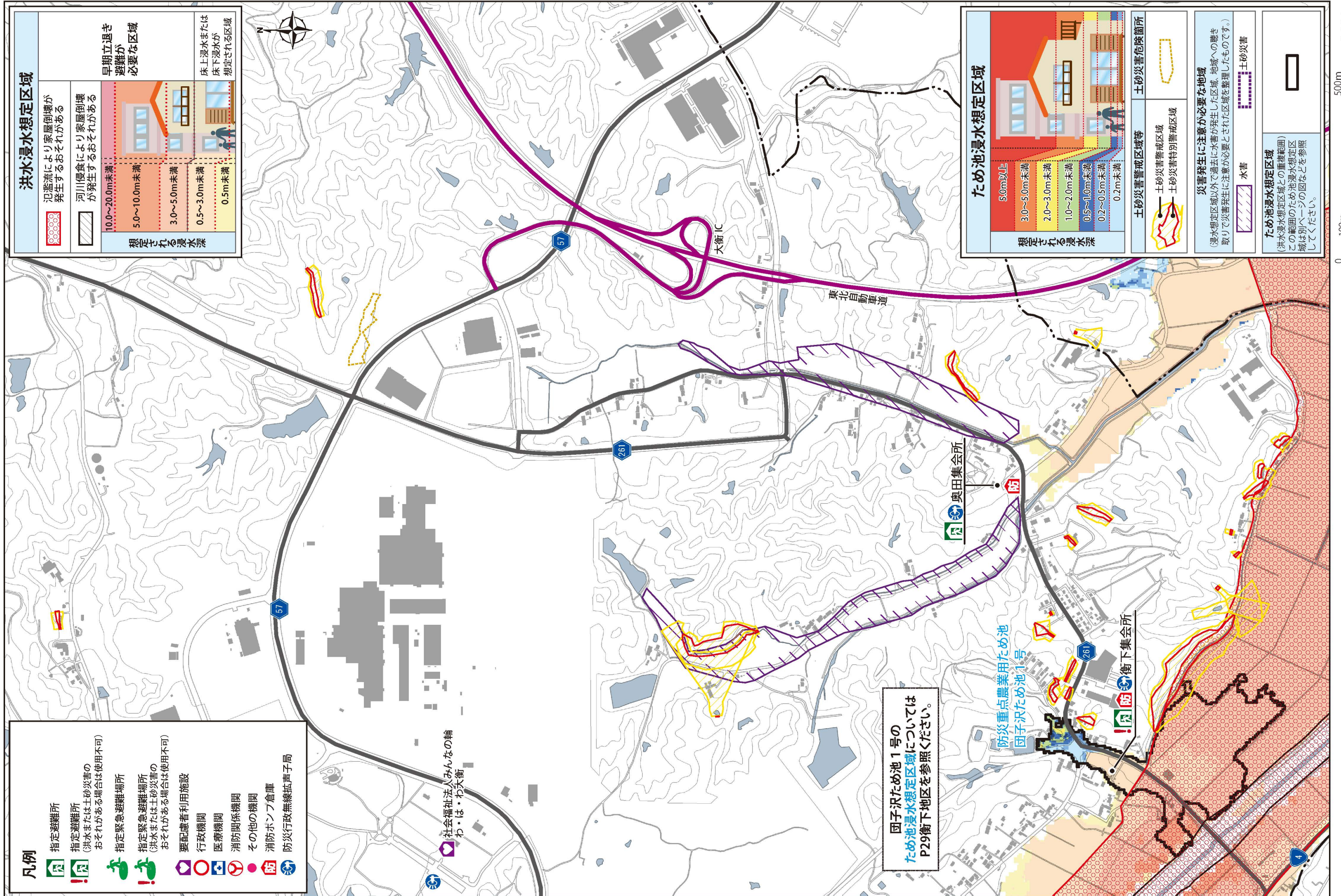


1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ⑥ 奥田地区 洪水・ため池浸水版



1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

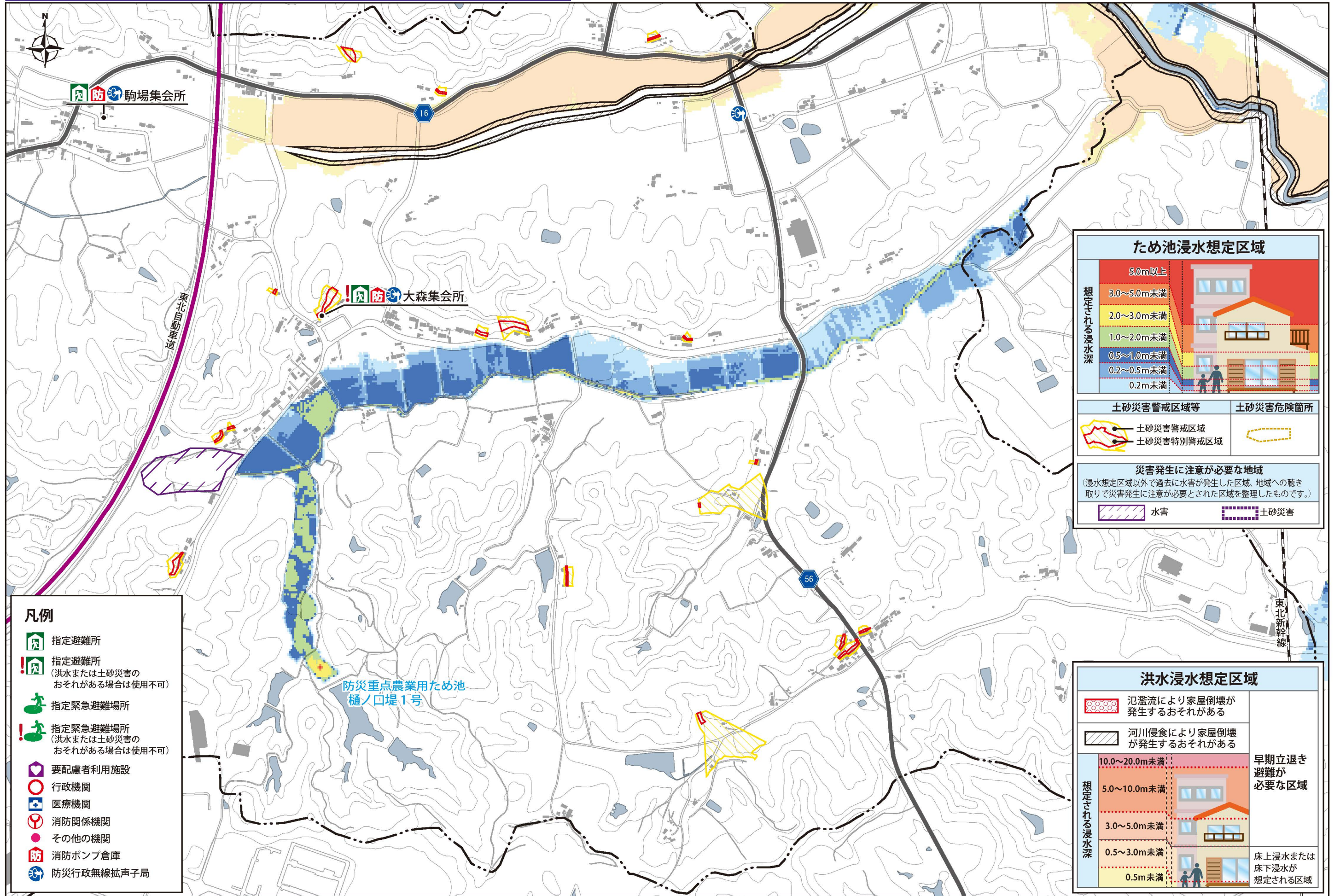
1 はじめに

2 大雨時の行動を事前に考える

3 日頃から備える

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ⑦ 大森地区 洪水・ため池浸水版



- 凡例**
- 指定避難所
 - 指定避難所 (洪水または土砂災害のおそれがある場合は使用不可)
 - 指定緊急避難場所
 - 指定緊急避難場所 (洪水または土砂災害のおそれがある場合は使用不可)
 - 要配慮者利用施設
 - 行政機関
 - 医療機関
 - 消防関係機関
 - その他の機関
 - 消防ポンプ倉庫
 - 防災行政無線拡声子局

ため池浸水想定区域

想定される浸水深	5.0m以上	
	3.0~5.0m未満	
	2.0~3.0m未満	
	1.0~2.0m未満	
	0.5~1.0m未満	
	0.2~0.5m未満	
	0.2m未満	

土砂災害警戒区域等	土砂災害危険箇所
土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域	

災害発生に注意が必要な地域
 (浸水想定区域以外で過去に水害が発生した区域、地域への聴き取りで災害発生に注意が必要とされた区域を整理したものです。)

水害	土砂災害
----	------

洪水浸水想定区域

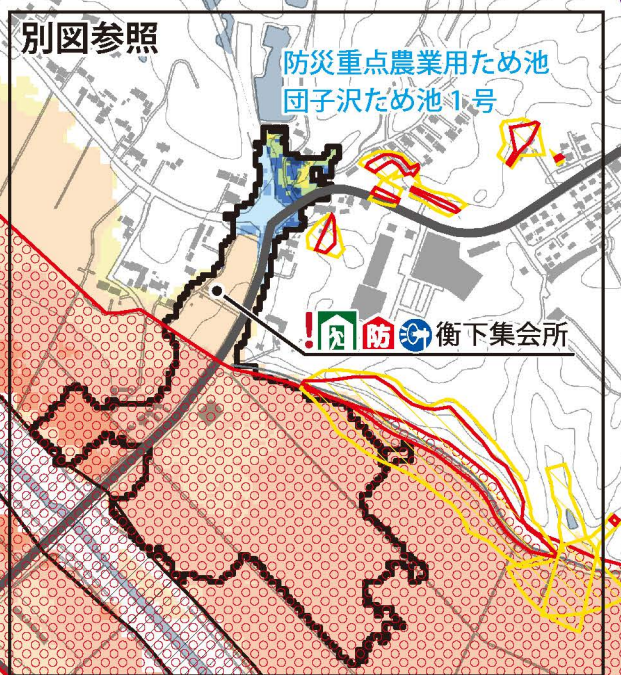
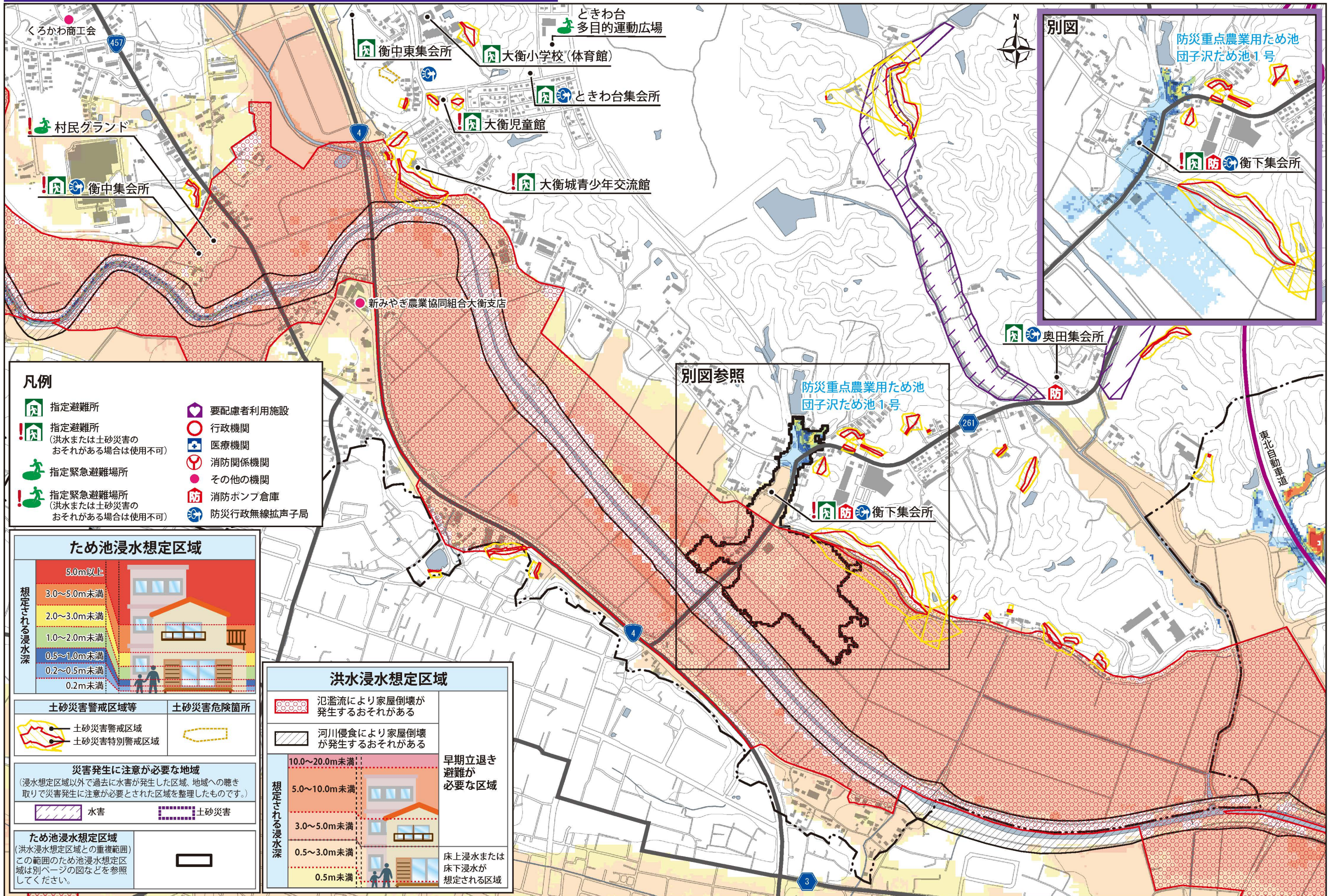
	氾濫流により家屋倒壊が発生するおそれがある	早期立退き避難が必要な区域
	河川侵食により家屋倒壊が発生するおそれがある	
想定される浸水深	10.0~20.0m未満	
	5.0~10.0m未満	
	3.0~5.0m未満	
	0.5~3.0m未満	
	0.5m未満	床上浸水または床下浸水が想定される区域

1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

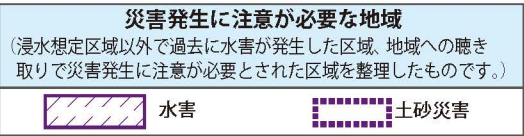
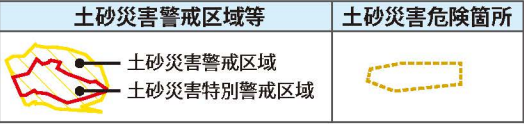
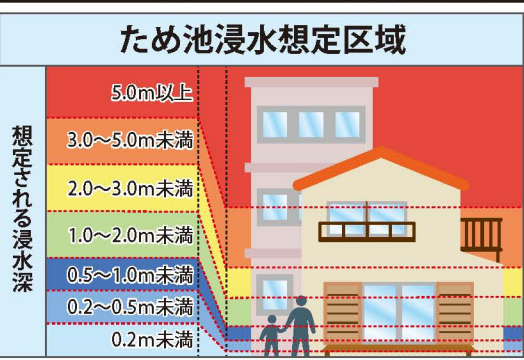
2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ⑧ 衡下地区 洪水・ため池浸水版

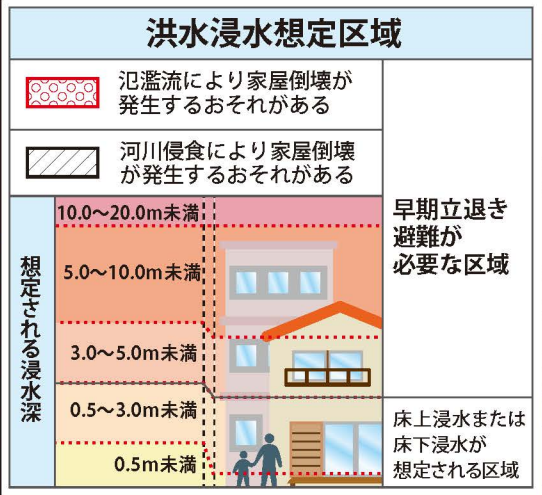


凡例

	指定避難所		要配慮者利用施設
	指定避難所 (洪水または土砂災害のおそれがある場合は使用不可)		行政機関
	指定緊急避難場所		医療機関
	指定緊急避難場所 (洪水または土砂災害のおそれがある場合は使用不可)		消防関係機関
			その他の機関
			消防ポンプ倉庫
			防災行政無線拡声子局



ため池浸水想定区域
(洪水浸水想定区域との重複範囲)
この範囲のため池浸水想定区域は別ページの図などを参照してください。

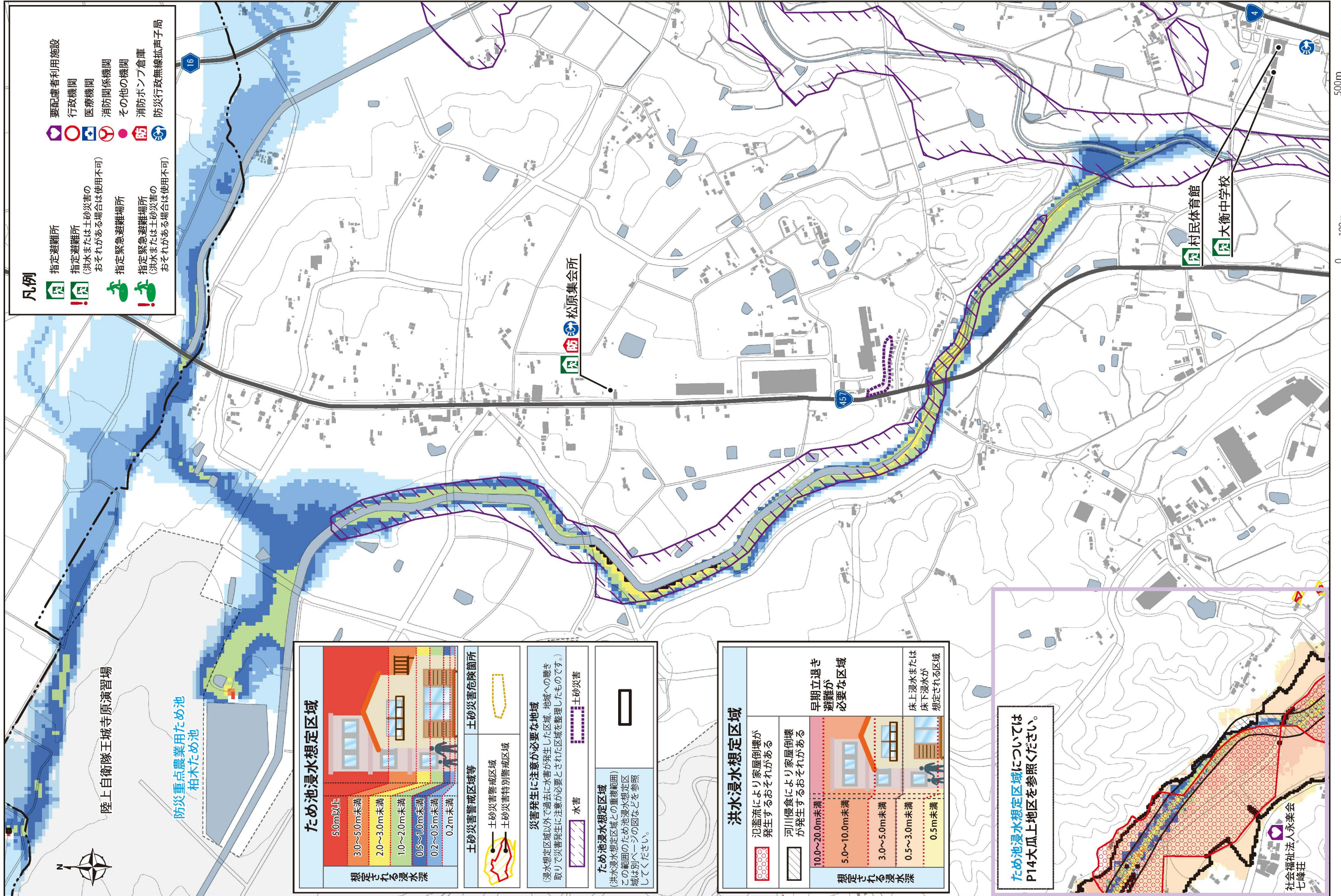


1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ⑨ 松原地区 洪水・ため池浸水版



1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

ため池浸水想定区域

5.0m以上	3.0~5.0m未満	2.0~3.0m未満	1.0~2.0m未満	0.5~1.0m未満	0.2~0.5m未満	0.2m未満
想定される浸水深						

土砂災害警戒区域等
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域

土砂災害危険箇所

洪水浸水想定区域

氾濫流により家屋倒壊が発生するおそれがある
河川侵食により家屋倒壊が発生するおそれがある

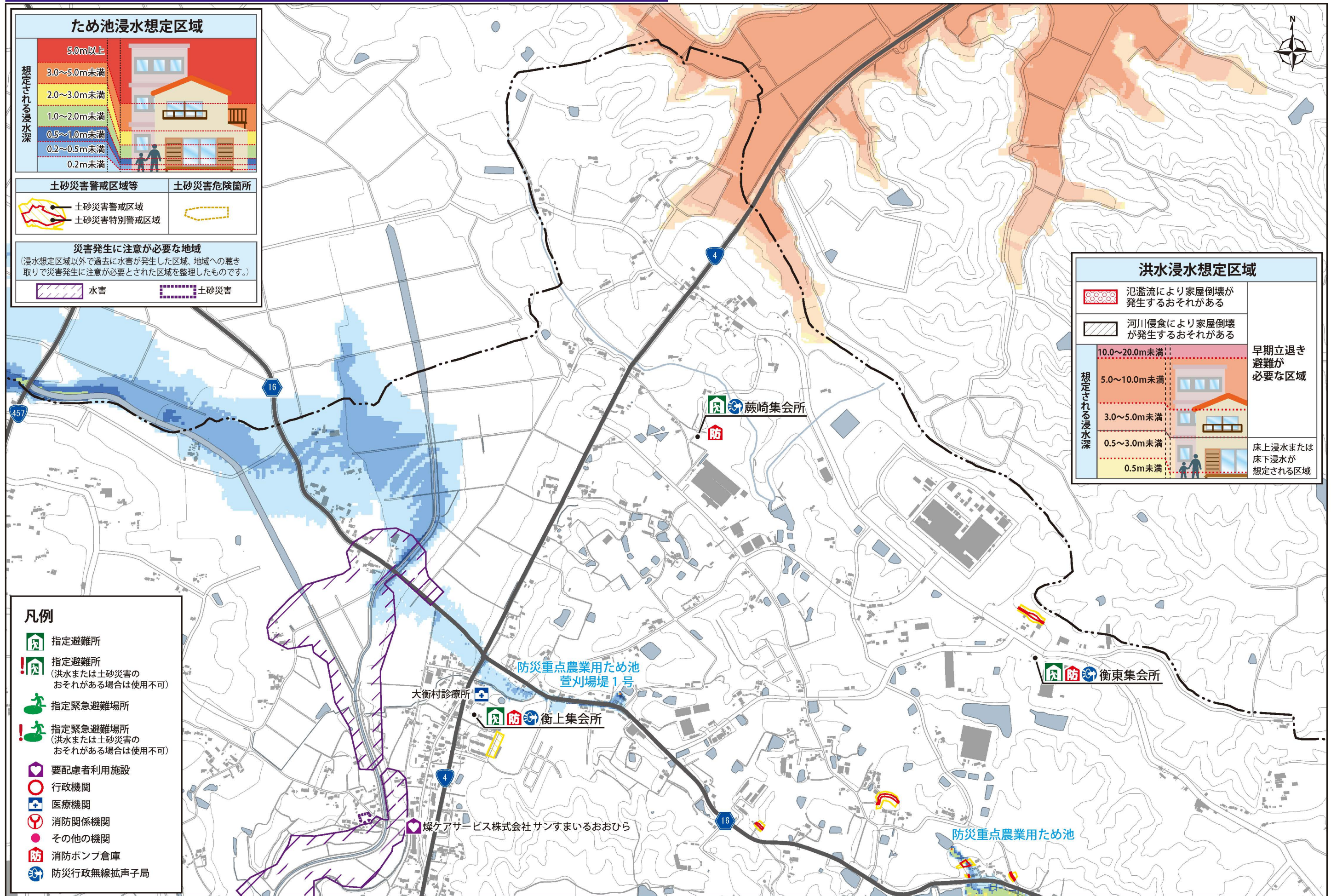
10.0~20.0m未満	5.0~10.0m未満	3.0~5.0m未満	0.5~3.0m未満	0.5m未満
想定される浸水深				

早期立退き避難が必要な区域
床上浸水または床下浸水が想定される区域

ため池浸水想定区域についてはP14大瓜上地区を参照ください。

2. 大雨時の行動を事前に考える

2-7. ハザードマップ⑩ 蕨崎地区、衡東地区 洪水・ため池浸水版



1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

1 はじめに
2 大雨時の行動を事前に考える
3 日頃から備える

3-1. 非常持ち出し品

非常持ち出し品、備蓄品を準備しましょう。

非常持ち出し品

避難の際に

- 通帳・印鑑
- 衣類・タオル
- 救急医薬品
常備薬
- オムツなど
衛生用品
- 消毒液
マスク
- 携帯電話
充電器

事前に（リュックサックに！）

- 現金
- 免許証
健康保険証
などのコピー
- 非常用食料
- 水
- ラジオ
懐中電灯

備蓄品

家族が最低3日間（推奨7日間）は過ごせるように備蓄しましょう。

- 缶詰類
- インスタント
ラーメン
- アルファ化米
- 水
- 卓上コンロ
ガスボンベ

備蓄のポイント（ローリングストック法）

日頃から少し多めに食材や加工品を買っておき、一定量に保ちながら、古いものから消費し、購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができます。



3-2. 日頃からの備え

日頃から、台風や大雨時に備え、家の周りの点検や掃除をしておきましょう。また、点検した日を記入しておきましょう。

屋根	年月日
年月日	
年月日	

窓	年月日
年月日	
年月日	

雨どい	年月日
年月日	
年月日	

ベランダ	年月日
年月日	
年月日	

外壁	年月日
年月日	
年月日	

排水溝	年月日
年月日	
年月日	

その他	年月日
年月日	
年月日	

屋根

- アンテナは不安定ではないか。
- トタンがめくれていないか。
- 瓦のひび・割れ・はがれがないか。

窓

- 窓枠のがたつきはないか。
- 雨戸のがたつきはないか。

雨どい

- 雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
- 継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐れはないか。

ベランダ

- 植木鉢や物干しなど、落下や飛散の危険のあるものはないか。

外壁

- 壁に亀裂はないか。

排水溝

- 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。

その他

- 商店などでは看板のぐらつきがないか。
- ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
- 庭木には添え木をしているか。
- ブロック塀はくずれそうにないか。
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定しているか。

家屋の浸水被害を軽減する

家庭にある物を利用し、家屋への浸水を防ぎましょう。玄関などの出入口や、床下への浸水防止の対策を行いましょう。

ごみ袋による簡易水のう

ごみ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結します。



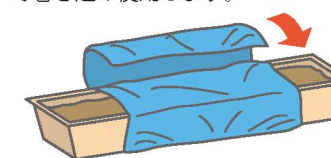
ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結します。



プランターとレジャーシート

土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。



3-3. 地域で災害に備える

地域で災害に備えましょう

高齢者・病気の人

車いすやストレッチャーなどの移動用具が確保できない場合や急を要するときには、担架やおんぶなどにより避難させてください。また、病気の場合は、使用している医療機材や医薬品を確保するようにしましょう。



耳の不自由な人

大きく口を動かすなど身振りや筆談で状況を説明し、避難所へ誘導しましょう。



目の不自由な人

「おてっだいしましょうか」などと、まず声をかけ、ゆっくり、はっきり、大きな声で話しましょう。

誘導するときは、つえを持っていない腕のひじのあたりに軽くふれるか、腕を貸しながら半歩前をゆっくり歩いて誘導しましょう。



車いすの利用者や足の不自由な人

それぞれの人に適した誘導方法を確認し、早めに避難させましょう。車いすの場合は、階段では必ず3人が協力し、上がる時は前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないようにしましょう。



応急手当を理解しておきましょう

一般住民向け応急手当web講習

消防庁が一般住民向けに、救命講習をWEBで公開しています。心肺蘇生・AEDの活用などの応急手当を学ぶことができます。

<https://www.fdma.go.jp/relocation/kyukyukikaku/oukyu/>



3-4. 自主防災組織

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織で、災害による被害を予防し、軽減するために地域の方々が連携し防災活動を行います。



災害が大きくなるほど、公的機関がすべてのことに対応することは困難となります。このため、発災直後の防災活動において、自らの身を自らで守る「自主防災組織」がお互いの命を守ります。

防災訓練

災害から身を守るためには、皆さん一人一人の普段からの備えが何よりも重要です。皆さんの防災意識向上を図るため、大衡村では住民参加型の訓練を実施しています。



初期消火訓練 (松原)



倒壊家屋救出訓練 (総合防災訓練)



A E D 取扱訓練 (駒場)

3-5. 消防団

消防団は、わたしたちの住む地域を火災や自然災害から守り、地域の防災リーダーとして重要な役割を果たしています。

消防団は誰でも参加できる活動です。消防団の充実強化及び活性化に向けて消防団に参加し、防災に取り組みましょう。



救急救護訓練 (総合防災訓練)

3-6. 避難行動要支援者名簿

宮城県や大衡村では避難行動要支援者（災害が発生した場合に避難の手助けなどを必要とする方）の名簿を作成しています。この名簿は災害時に身体が不自由などの理由から、避難が困難な方の安否確認、避難誘導などを速やかに行うために活用するものです。ご不明な点は、大衡村 健康福祉課へお問い合わせください。

